

# ビル運営受託のザイマックス

## ホテル参入 3年で10棟

ビル運営の受託事業を手掛けるザイマックス（東京・港）はホテル事業に参入する。宴会場を設けない宿泊特化型ホテルを3年で10棟（1500室程度）を開業する。事業費は300億〜400億円を見込む。訪日客の増加で大都市を中心にホテルが不足している点に着目。ビル運営受託に次ぐ事業の柱に育てたい考えだ。

1982年に設立したビル事業部で、00年にMBO（経営陣が参加する買収）方式で独立。15年3月期の売上高はグループ全体で695億円だった。18日に大阪市と京都市に2ホテルを同時開業する。大阪市では地上9階建てで客室数は69室、京都市は地上7階建てで36室となる。1室あたりの宿泊料金は1万円超を見込んでいる。ツインルームを標準とし、広さは20平方メートルにする。今年末には関西国際空港近く

の大阪府田尻町に136室のホテルを開設する。

1棟あたりの事業費は30億〜40億円で自己資金の充当のほか借入れを検討。国際便が就航する

羽田空港や関西国際空港の周辺のほか、京都市などの観光都市に設ける。

ザイマックスは宿泊者を安定的に確保するため、海外の旅行会社とも連携。旅行会社を傘下を持つ中国・春秋グループと組み、ツアーの宿泊先としてザイマックスのホテルを利用してもらうように働きかける。